

講演会

「私たちはどこから来たのか？ どこへ行くのか？」 ～化石と石器から読み解く人の進化～

世界人口は、1950年には25億人でしたが、約70年後の2022年には80億人へと3.2倍にも増加しました。一方、アフリカに生息する私たちの隣人チンパンジーは、多くても30万頭で、絶滅や減少が続いています。

現在の地球にはHomo sapiensしかいませんが、かつては多様な人類種が世界各地に分布していました。当日は、過去200万年から現代までの代表的な人化石標本や石器を実際に手に取って観察し、人の進化を振り返ります。

ヨーロッパからアジアへと急激に拡散した現代人は、7.5万年前以降、アフリカを出た少数集団を共通祖先としています。私たちの大繁栄の鍵はどのような能力だったのか？皆さまと一緒に考えてみたいと思います。

日時：**11**月**9**日(土)
令和6年
午後2時～4時

講師：武蔵大学名誉教授
丸橋珠樹 氏

場所：小竹図書館 2階会議室

対象：一般(中学生以上)

定員：25人 事前申込制

申込み：小竹図書館カウンターまたは電話にて

☎ 03-5995-1121



「人の進化」(国立科学博物館所蔵)

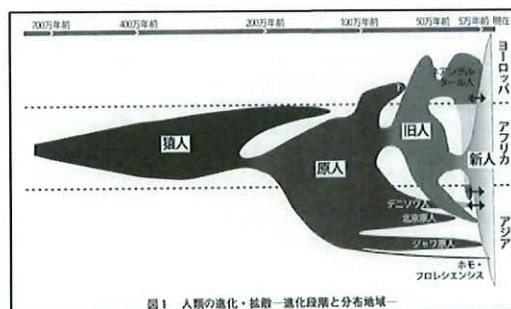


図1 人類の進化・拡散-進化段階と分布地域-

「人類の進化・拡散-進化段階と分布地域」
(『季刊考古学118号』2021年、特集「古人類学・最新研究の動向」より)



【講師 PROFILE】丸橋珠樹氏

1952年、愛媛県生まれ。京都大学理学部卒・同大学院博士課程修了(理学博士)。専門は霊長類学。

世界各地の熱帯林で霊長類の社会生態を研究し、現在は、タイに生息するベニガオザルの研究を続けている。武蔵大学名誉教授。